

第117期 中間報告書

[平成28年4月1日～平成28年9月30日]

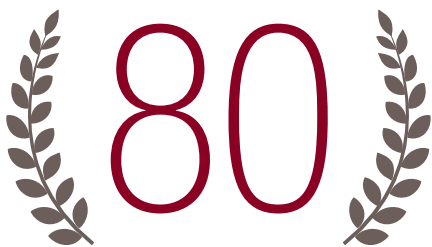
CHEMICAL PRODUCTS

BUILDING & HOUSING MATERIALS

CONSTRUCTION MATERIALS

アイカ工業株式会社

証券コード 4206



AICA 1936

Eighty Years Young

当社は、皆様に支えられ
平成28年10月20日、創立80周年を迎えました。
80周年を迎える「歴史」や「誇り」を、
リーフの伝統的なモチーフと「AICA 1936」の文字で表しつつ、
「まだまだ80年、これからも進化し続けます」という気持ちを、
「Eighty Years Young」という言葉で表現しています。

CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
連結決算	
連結貸借対照表／連結損益計算書	
連結キャッシュ・フロー計算書	
■ 企業活動のご案内	7
■ 会社の概要	8
■ 株式の状況	9
■ 株主メモ	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は平成28年10月20日、創立80周年を迎えました。

これもひとえに、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご愛顧・ご支援の賜物と心より厚くお礼申し上げます。これからも社是である「挑戦と創造」の精神のもと、90周年、100周年に向けて進んでまいります。

さて、当社グループ第117期第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、英国のEU離脱問題に伴う急速な円高の進行や消費増税の再延期決定などの景気下押し要因がみられたものの、全体としては雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、アジア・オセアニア経済は、インドネシアなど一部の国で回復傾向がみられるものの、中国を中心に緩やかな景気減速が続きました。

国内建設市場におきましては、住宅ローン金利の低下や政府による住宅取得支援策などにより住宅着工は回復しましたが、非住宅関連は、店舗・公共施設を中心に着工面積の減少が見られ、本格的な回復には至っておりません。

このような経営環境の下、当社グループは、医療・介護施設をはじめとする非住宅市場およびリフォームなどの成長分野に対する営業活動の強化、アिका・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社とのシナジーの追求、アジア地域におけるメラミン化粧板販売の強化、機能材料事業の強化などを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高72,754百万円(前年同四半期比4.4%増)、営業利益8,664百万円(前年同四半期比20.1%増)、経常利益8,749百万円(前年同四半期比14.5%増)、親会社株主に帰属す

る四半期純利益5,242百万円(前年同四半期比13.7%増)となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては1株につき38円(普通配当22円 記念配当16円)とさせていただきます。

今後の景気動向につきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続き、各種政策の効果などを背景に緩やかな回復基調が継続することが期待されますが、中国を始めとするアジア新興国など海外経済の減速による景気不振リスクが残っています。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、医療・介護、リフォーム・リノベーション、補修・補強などの成長分野に対する営業活動の強化、アिका・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社とのシナジーの追求、アジア地域におけるメラミン化粧板販売の強化、機能材料事業の強化による更なる成長の実現、顧客ニーズにマッチしたスピード感ある新商品開発を行ってまいります。

当社グループは、コンプライアンス(法令遵守)とCSR(企業の社会的責任)を重点方針に掲げ、社会から一層信頼される企業を目指し邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月



代表取締役社長

小野勇治

化成系セグメント

国内の接着剤系商品は、木工・家具向け汎用接着剤、合板用接着剤が好調に推移したことに加え、前年9月より連結業績に組み入れたアイカSDKフェノール株式会社が寄与し、前年を上回りました。一方、海外の接着剤系商品においては、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社が、アジア太平洋地域における接着剤・繊維板用樹脂の需要を取り込むことができたものの、原材料安による売価低下や為替換算レートの影響により売上は前年を下回り、その結果、接着剤系商品全体としても前年を下回りました。

建設樹脂系商品は、橋梁などの補修・補強材「ダイナミックレジン」が公共工事の発注件数が大きく下回ったことが影響し前年を下回りましたが、改修市場への積極的な展開を進めた塗り床材「ジョリエース」や、2年後のHACCP導入義務化に対応する高耐久塗り床材「アイカピュール」は好調に推移し、全体としては売上を伸ばすことができました。

非建築分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、有機微粒子や自動車向け接着剤が順調に推移し前年を上回りました。

このような結果、売上高は36,659百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は3,076百万円(前年同四半期比22.3%増)となりました。



環境配慮型接着剤
Fフォースター(F☆☆☆☆)対応
アイカエコエコボンド

塗り床材
aica pur
(アイカピュール)



建築材セグメント

国内市場では、インバウンド需要によりホテルなどの新築・改修が堅調に推移したものの、医療・介護施設などの新築需要が低調に推移した結果、汎用的な化粧板・化粧ボードは低調に推移しました。その中で、メラミン化粧板周辺領域への展開として注力している粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」は好調に推移しました。加えて、前年10月より連結業績に組み入れたアイカテック建材株式会社が寄与し、全体としては前年を上回りました。

一方、海外市場においては、インドネシア、シンガポールを中心に化粧板の販売量を増やしましたが、為替換算レートの影響により売上としては前年を下回りました。

このような結果、売上高は18,080百万円(前年同四半期比17.2%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は3,894百万円(前年同四半期比22.2%増)となりました。



デザイナーズ・ラミネート化粧板
+ WONDER (プラスワンダー)
物件名: 新富町総合交流センター
設計: 株式会社佐藤総合計画

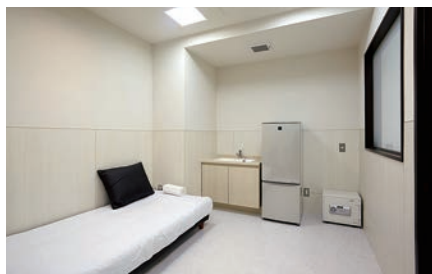


粘着剤付化粧フィルム
Altino (オルティノ)
物件名: タリーズ小田原トザインストア
デザイン設計: 株式会社ノムラプロダクツ 佐藤大記

住器建材セグメント

不燃化粧材「セラール」は、住宅向けキッチンパネル用途、教育施設、公共施設向けの壁用途などを中心に好調に推移しました。メラミン化粧板を加工したポストフォーム・カウンター商品は、集合住宅向けのキッチン扉や、戸建住宅や集合住宅向けの対面カウンター「バリューエッジカウンター」、天然水晶を原材料にした高級人造石「フィオレストーン」を中心に売上を伸ばすことができました。ドア・インテリア建材は、戸建住宅向け建具全体としては前年を下回りましたが、メラミン化粧板の特性を活かした「メラフュージョンシリーズ」は売上を伸ばすことができました。また、医療・介護施設向け機能引戸「U.D.(ユニバーサルデザイン)コンフォートシリーズ」は医療・介護施設の新築着工減少の影響を受け前年を下回りました。

このような結果、売上高は18,015百万円(前年同四半期比4.5%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は2,882百万円(前年同四半期比15.1%増)となりました。



不燃化粧材

CERARL (セラール)

物件名：藤田保健衛生大学長寿包括ケアクリニック



ポストフォームカウンター バリューエッジカウンター

超高齢社会に向けた新たな医療・看護・介護ケアミックスモデル『IWAOモデル』の実現に向け、医療・介護施設や高齢者住宅向けの建材を共同開発

団塊世代が後期高齢者となる「2025年問題」が現実味を帯びる中、介護や福祉分野の需要も拡大し、医療・介護サービス体制の抜本的な見直しが求められています。このような背景を踏まえ、当社は、医師で老年学分野の第一人者でもある名古屋大学大学院経済学研究科の岩尾聡土特任教授が提唱する、地域社会と産・官・学が連携を深め医療と介護、人材教育を統合し、街全体で高齢者をケアする仕組み「IWAOモデル」に賛同し、2009年に「社会福祉経済学寄附講座」、現在は「CBM(Community Based Medicine)ヘルスケアイノベーション寄附講座」を名古屋大学に開設し、同モデルの実現を支援しています。また、その実現に向けて医療・介護施設や高齢者住宅向けの様々な建材を岩尾教授と共同開発し、医療、介護に最適な安心・安全な空間づくりを行っています。

このような取り組みの結果、高齢者住宅・リハビリセンターと診療所の複合施設「まごころの杜」が本年11月、名古屋市熱田区に開設されました。「まごころの杜」では、メラフロアセーフティ(「硬い」と「柔らかい」という、相反する機能を実現。車いすなどのハードユースにも耐え、万一転倒しても衝撃を吸収するフロア)、セラール消臭タイプ(医療・介護施設で気になる生活臭の原因物質を低減※する壁装材)をはじめとする、当社が開発した様々な建材が採用されています。

※当社従来品との比較



高齢者向け住宅・リハビリセンター「まごころの杜」(名古屋市)

連結決算

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (平成28年9月30日現在)	前 期 (平成28年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	104,248	103,028
現金および預金	43,051	37,449
受取手形および売掛金	45,190	49,333
たな卸資産	11,215	12,124
その他	5,008	4,363
貸倒引当金	△217	△241
固定資産	46,935	50,405
有形固定資産	28,545	30,472
無形固定資産	3,768	4,965
投資その他の資産	14,621	14,968
その他	14,650	15,002
貸倒引当金	△28	△34
資産合計	151,183	153,434

科 目	当第2四半期 (平成28年9月30日現在)	前 期 (平成28年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	32,846	34,644
支払手形および買掛金	18,870	20,850
電子記録債務	3,852	3,982
短期借入金	682	513
未払法人税等	2,715	2,394
賞与引当金	1,482	1,693
その他	5,241	5,210
固定負債	5,818	6,289
長期借入金	556	1,043
退職給付に係る負債	1,115	1,147
その他	4,146	4,098
負債合計	38,664	40,933
純資産の部		
株主資本	105,385	101,776
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,271	13,271
利益剰余金	84,228	80,618
自己株式	△2,006	△2,005
その他の包括利益累計額	3,085	6,218
その他有価証券評価差額金	3,102	3,027
繰延ヘッジ損益	6	△4
為替換算調整勘定	△148	3,092
退職給付に係る調整累計額	124	103
新株予約権	36	36
非支配株主持分	4,010	4,469
純資産合計	112,518	112,501
負債純資産合計	151,183	153,434

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 累計期間 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)
売上高	72,754	69,691
売上原価	51,026	50,409
売上総利益	21,728	19,281
販売費および一般管理費	13,063	12,069
営業利益	8,664	7,212
営業外収益	499	742
営業外費用	413	316
経常利益	8,749	7,638
特別損失	334	—
税金等調整前四半期純利益	8,415	7,638
法人税、住民税および事業税	2,795	2,450
法人税等調整額	△9	170
四半期純利益	5,630	5,017
非支配株主に帰属する四半期純利益	387	408
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,242	4,608

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

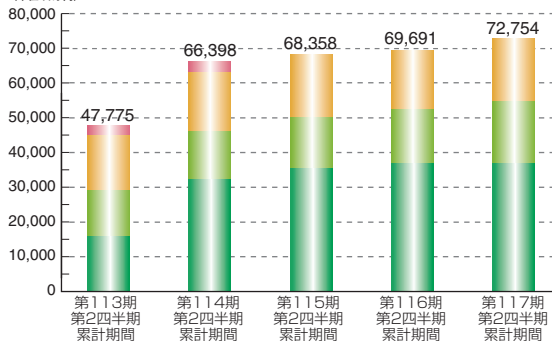
(単位:百万円)

科目	当第2四半期 累計期間 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,265	6,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,579	△2,603
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,006	△2,321
現金および現金同等物に係る換算差額	△1,099	△140
現金および現金同等物の増減額	5,580	1,420
現金および現金同等物の期首残高	37,449	35,220
合併に伴う現金および現金同等物の増加額	22	—
現金および現金同等物の四半期末残高	43,051	36,640

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

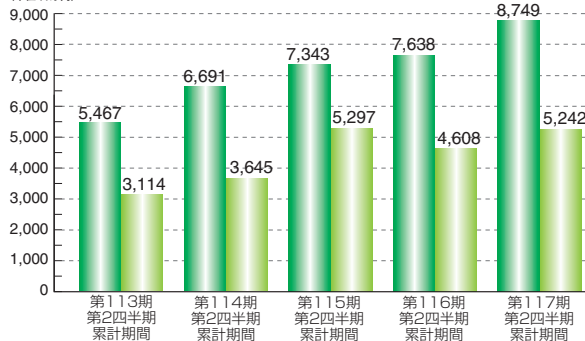
● 売上高

(単位:百万円)



● 経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位:百万円)



中期経営計画達成に向けた事業強化

当社グループは、平成29年3月期(当期)を最終年度とする中期経営計画において、「改修・リフォーム・医療介護など成長分野への取り組み強化と用途開拓による国内中核事業の持続的成長」、および「海外事業・機能材料事業の展開加速を通じた事業構造の変革」を経営戦略として掲げています。

この戦略のもと、平成27年9月に昭和電工株式会社のフェノール樹脂事業を承継した「アイカSDKフェノール株式会社」の株式を譲受けました。また、10月には、三菱マテリアル建材株式会社の事業を承継した「アイカテック建材株式会社」の株式を譲受けました。

当社は当期の重点方策として、アイカSDKフェノール、アイカテック建材とのシナジーの追求を掲げています。

<アイカSDKフェノール>

当社とアイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社のフェノール樹脂事業は、建築分野に強く、アイカSDKフェノールは、自動車・鉄鋼・電子機器に強いという特徴があります。アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社は、アイカSDKフェノールの技術供与を受け、設備投資を行うことで、アジア・ASEAN地域におけるフェノール樹脂の商品群の充実を図ってまいります。また国内では、当社の甚目寺工場(愛知県)

と広島工場(広島県)、アイカSDKフェノールの伊勢崎工場(群馬県)において相互に生産できる体制を構築し、製造拠点の最適化を図っております。両社の製造拠点を活用することで国内におけるフェノール樹脂の拡販を図ってまいります。

<アイカテック建材>

当社は、メラミン樹脂やフェノール樹脂といった有機材料を原材料とした内装用建材の分野に強みを持ち、メラミン化粧板で国内トップシェアを誇ります。ヒット商品「セラル」は、メラミン化粧板の意匠性・耐久性・強度を保ちつつ不燃化に成功したことで、住宅のキッチンパネルや医療・介護施設の壁面などでシェアを拡大しています。

今年8月、アイカテック建材とのシナジーによる無機系不燃建材「モイス」の発売を開始しました。「モイス」は天然素材のみで造られた有害物質を含まず土に還することができるサステナブルな次世代型建材です。当社の設計市場に対する高い訴求力や全国に広がる販売網を活用することでモイスの拡販を図ってまいります。当社は今後も、不燃建材の商品群を拡充するとともに、アイカテック建材が有する技術とのシナジーにより、新商品開発を進めてまいります。



アイカSDKフェノール株式会社
工業用フェノール樹脂(研磨布紙用)



アイカテック建材株式会社
多機能建材「モイス」

会社の概要

[平成28年9月30日現在]

プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000(代表)
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万円
- 事業所

[生産拠点] 本社工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県) 丹波工場(兵庫県)

[開発拠点] R&Dセンター甚目寺研究所(愛知県)

R&Dセンター丹波研究所(兵庫県)

R&Dセンター茨城研究室(茨城県)

[営業拠点] 札幌支店 仙台支店 盛岡支店

東京支社 埼玉支店 横浜支店

千葉支店 北関東支店 宇都宮営業所

新潟営業所 名古屋支店 静岡支店

金沢支店 大阪支店 神戸支店

京都営業所 広島支店 岡山営業所

四国支店 福岡支店 鹿児島支店

■主要製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板

[住器建材セグメント]

室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

■連結子会社

- [会社名] アイカインテリア工業株式会社(愛知県)
 アイカハリマ工業株式会社(兵庫県)
 西東京ケミックス株式会社(東京都)
 アイカSDKフェノール株式会社(群馬県)
 アイカテック建材株式会社(東京都)
 アイカインドネシア社(インドネシア)
 テクノウッドインドネシア社(インドネシア)
 昆山愛克樹脂有限公司(中国)
 瀋陽愛克浩博化工有限公司(中国)
 愛克樹脂貿易(上海)有限公司(中国)
 アイカラミネーツ・インディア社(インド)
 アイカベトナム社(ベトナム)
 アイカ・アジア・パシフィックホールディング社(シンガポール)

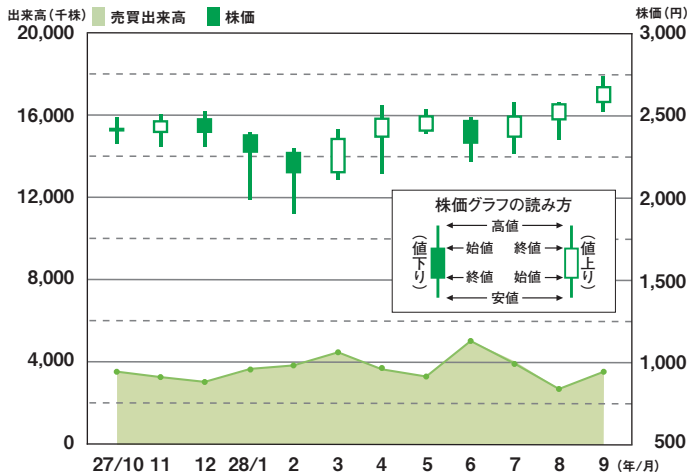
取締役・監査役および執行役員

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| [代表取締役社長] | 小野 勇 治 |
| [常務取締役] | 百々 聡 |
| [常務取締役] | 岩瀬 幸 廣 |
| [取締役] | 大村 信 幸 |
| [取締役] | 小瀬村 久 |
| [取締役] | 森 良 二 |
| [取締役] | 伊 東 善 光 |
| ◎[取締役] | 小 倉 健 二 |
| ◎[取締役] | 花 村 淑 郁 |
| [常勤監査役] | 岩 田 照 徳 |
| [常勤監査役] | 森 永 博 之 |
| ○[監査役] | 松 浦 洋 |
| ○[監査役] | 加 藤 正 和 |
| [上席執行役員] | 堀 田 益 之 |
| [上席執行役員] | 岩 塚 祐 二 |
| [執行役員] | Francis Chan (フランシス チャン) |
| [執行役員] | Chew Teck Liong (チュー テクリオン) |
| [執行役員] | 加 藤 義 昭 |
| [執行役員] | 村 瀬 元 康 |
| [執行役員] | 石 井 直 美 |
| [執行役員] | 天 野 利 通 |
| [執行役員] | 倉 本 寛 直 |
| [執行役員] | 吉 村 利 康 |

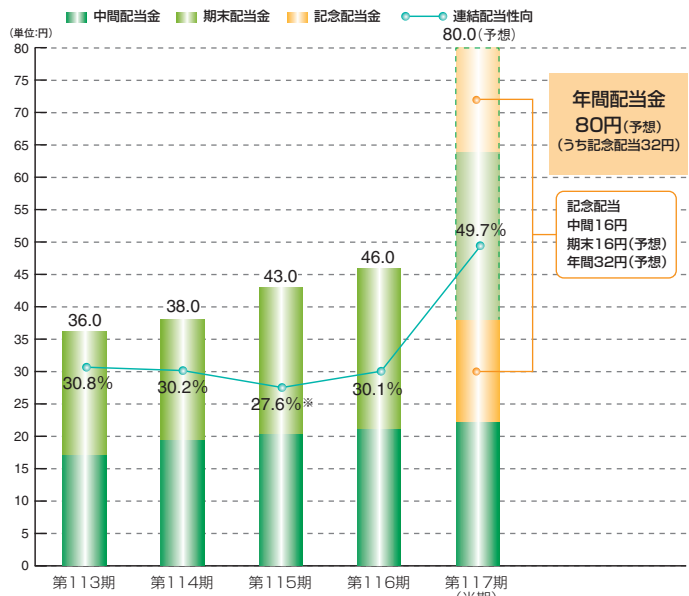
(注)◎印は社外取締役、○印は社外監査役であります。

● 発行済株式の総数…67,590,664株

株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)

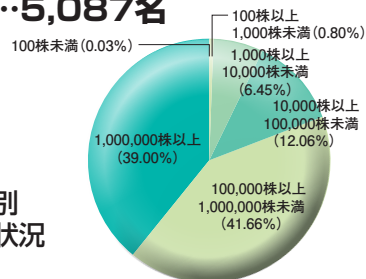


創立80周年(第117期)の配当予想に関するお知らせ

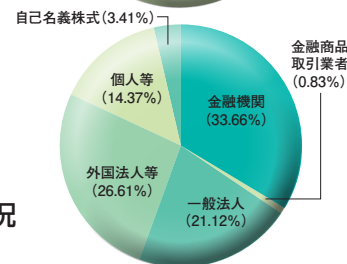


※第115期において親会社株主に帰属する当期純利益から事業譲渡益を除外して算出した場合の連結配当性向は30.2%となります。

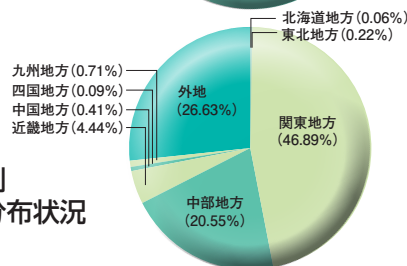
● 株主数…5,087名



所有株数別 株式分布状況



所有者別 株式分布状況



地域別 株式分布状況

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,050	6.20
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	3,110	4.76
アイカ工業取引先持株会	2,005	3.07
アイカ工業株式保有会	1,599	2.45
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	1,556	2.38
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,517	2.32
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,493	2.29
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,328	2.03
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	1.99

※当社は、自己株式2,303千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は、自己株式2,303千株を控除して計算しております。

株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.aica.co.jp/

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定* 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

AICA

カガクとデザインで面白いこと



地球温暖化防止活動の一環として、この印刷物を作成する際に排出されたCO₂は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じ、環境省で認定された排出権(宮城県米川生産森林組合有林間伐促進森林吸収プロジェクト)によりカーボンオフセットされております。

